**○○○○避難訓練実施要綱**

例

【訓練の想定】

１　日時　　　　　　　　○○年○○月○○日（○曜日）

　　　　　　　　　　　　午前○時○分から

２　出火想定　　　　　　例：営業時間中での火災

３　出火場所　　　　　　例：１階○○室ストーブから出火

４　避難場所　　　　　　例：屋外避難場所（駐車場）

【訓練の流れ】

１　火災の発生　　　　　例：○○室の感知器が作動し非常ベルが鳴る。

２　火災発生場所の確認　例：職員は事務室に行き受信機で出火場所を確認する。

３　出火場所の確認　　　職員は近くの消火器を持参し、出火場所を特定する。

大きな声で「火事だ－！火事だ－！」と叫ぶ。

４　初期消火　　　　　　職員は消火器で初期消火を行う。（放射姿勢１５秒維持）

　　　　　　　　　　　　初期消火後は出火居室の扉を閉鎖する。

５　消防署へ通報　　　　職員は１１９番通報する。

　　　　　　　　　　　　例：「訓練、訓練、平取町○○番地○○、○○○○（施設名）で

火事です。出火場所は○○です。・・・・私は事務の○○です。」

※消防署からの必要な質問に答えます。

６　避難誘導　　　　　　職員は出火場所を避けて安全な避難口から利用者を避難させる。

　　　　　　　　　　　　自力避難困難者は職員で搬送する。

　　　　　　　　　　　　逃げ遅れ者の確認を行う。

７　避難者の確認　　　　避難場所で利用者・職員の人員及びケガ等の確認を行う。

８　消防隊への報告　　　現場到着した消防隊へ必要な情報を提供する。

　　　　　　　　　　　　「逃げ遅れ・けが人は？」「出火場所は？」

９　訓練終了

１０　消防署の講評　※消防職員の派遣がある場合

１１　水消火器による取扱い訓練（屋外）※消防職員の派遣がある場合

参考資料

【留意事項】

　提出書類は、消防署所定の訓練計画書と貴職が用意する実施要綱、避難経路図（出火場所及び避難動線を明記すること。）を提出願います。

　なお、訓練実施に際し消防職員の派遣を求めない場合（独自で実施の場合）は、訓練実施後に、参加した人数等を連絡願います。

　※つまり、消防職員の派遣がある場合は報告書の提出は不要です。（確認済みのため）

別紙は、避難訓練初回用として基本的な訓練の流れを例示したものです。

　職員任務分担や内容等、施設にあった実施要綱に修正し作成願います。

【補足説明】

１　訓練想定は、出火場所・出火時間帯（日中・夜間）を変えて行い、最終的には一番避

難困難な状況の想定が目標です。

２　訓練の流れで、初期消火・通報・避難誘導は同時に行うことも考慮します。

３　消火器のほかに補助散水栓（屋内消火栓）を使った訓練も必要です。

４　自動火災報知設備や屋内消火栓設備などが設置されている防火対象物については、保

守点検契約している消防設備業者の立会を依頼した方が良いです。

　　（消防設備器具への精通と原状復帰のため）

５　避難困難者を収容する施設については避難手段（搬送法）及び避難に要する時間の検

証が必要です。